

令和5年度事業報告書

**社会福祉法人
富津市社会福祉協議会**



【重点事項における実績】

1 社会福祉協議会の目標に即した事業展開および強化

1 地域福祉事業の発展強化

- (1) 地域住民が安心して暮らせるよう、個別の課題把握だけでなく、地域全体の課題を把握しながら現状の事業の見直しや改善を図りました。
- (2) 民生委員児童委員協議会や、高齢者・障がい者団体等の関係機関と協働し、地域における要支援者の把握や支援内容を確認しながら一丸となって支援できる仕組みづくりに努めました。
- (3) 各地区社会福祉協議会の後方支援を行いながら、必要に応じて事業に参加し、地域における現況・諸問題の把握に努めました。

2 高齢者・障がい者福祉事業の推進

- (1) 要支援者を対象とした安否確認サービスを充実させ、必要に応じて民生委員や地域包括支援センター職員と一緒に訪問をする等、緊急対応を行いました。
- (2) 「富津市大佐和地区地域包括支援センター」受託により、高齢者の健康増進と介護保険等の相談支援を行いました。
- (3) 「ふっつ後見支援センター」では、成年後見制度に関する様々な相談支援や、裁判所・後見監督人との連携だけでなく、近隣4市で後見人受任をしている方々との情報交流の場を設けました。
- (4) 「交通手段支援事業」による、高齢者の買い物・通院支援を行い交通弱者への支援を行いました。

3 ボランティア活動の推進

- (1) ボランティアの登録や派遣申請など、ボランティアに対する相談支援を行いました。
- (2) ボランティア連絡協議会と連携し、広報紙などで、ボランティアの周知・啓発を図りました。
- (3) 災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定を富津市と締結しました。
- (4) 災害時にスムーズにボランティアセンターを運営するため、行政と協議するだけでなく、地域に出向き、災害ボランティアセンターの役割や、ボランティア活動について広報啓発を行いました。
- (5) フードバンクと連携し、生活困窮者や子ども食堂に対し、食料支援を行いました。
また、エコキャップの収集について広報啓発することにより、一般市民・学校・企業等から多くの賛同を頂き、3月末には年間累計個数388,376個のエコキャップを提供することができました。

4 福祉教育の推進

- (1) 各学年（小中学校、高校）・一般市民等、学校における福祉教育だけでなく、生涯学習としての福祉教育の推進を図ることを目的として、富津市障害者総合支援協議会と連携して学校における福祉体験学習の講師を務めました。

5 子育て支援事業の推進

- (1) 「子ども食堂」の後方支援として、食材等の配分や各種助成申請書への推薦書作成等を行ってきました。

6 広報・啓発活動の強化

- (1) 令和4年に引き続き、見やすい・情報を探しやすいホームページの作成に努めました。
- (2) 「会費」「愛の募金」「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」の趣旨や使途について情報を公開するとともに、社協事業について地域住民からの理解と協力を頂けるよう広報誌「福祉ふっつ」を年に2回発行、毎戸に配布しました。

7 相談・援助事業の強化

- (1) 福祉なんでも相談にて、相談者を取り巻く悩みについて総合的に対応し、社協だけでは対応できない部分においては関係機関と連携し、相談者の早期解決につながるよう支援しました。
- (2) 一時的な生活困窮者に対し、各種の福祉資金貸付に関する相談や家計の支援を行い、市社協の緊急小口資金や県社協の貸付金の申請支援を行いました。
- (3) コロナ禍における生活困窮者世帯への特例貸付等、時事情勢において緊急的支援が必要な方に対し、県社協と連携しながら迅速に対応し生活の安定が図れるよう支援しました。
- (4) 「富津市生活困窮者自立相談支援事業」及び「富津市被保護者就労支援事業」において、生活困窮者及び生活保護者が自立した生活を送れるように支援しました。
- (5) 「富津市大佐和地区地域包括支援センター」においては、高齢者の介護予防と権利擁護、健康維持のための事業を展開し、地域の高齢者が安心して生活できる仕組みづくりに努めました。

2 社会福祉協議会発展・強化のための基盤整備の推進

組織体制や経営基盤を整備・強化する為に、安定した財源確保を目指し、関係機関との協議を始めながら連携していくよう、中長期計画の策定に向けて準備を整えてきました。

1 各種計画の検討・作成

(1) 組織体制における中長期計画の策定

慢性している人員不足や組織体制基盤の強化に向けて、補助金や受託金事業・人件費問題等を富津市だけではなく、近隣市町村との対比や課題把握・課題解決のためのプロセス等を調査し、令和6年度策定予定である中長期計画の準備を行いました。

(2) 地域福祉活動計画の策定

行政の地域福祉計画に合わせて地域福祉活動計画を策定できるよう、行政の状況を確認しながら、準備を進めていきました。

(3) 岩瀬事務所の調査について、建設業者との打ち合わせを行い、令和6年度において本格的に調査・検討できるように進めました。

2 財源確保の推進

(1) 事業運営に対する財源確保の為、社協事業の広報啓発を行うとともに、新規法人会員等の加入を企業等へ働きかけ、新規会員の獲得に努めました。

(2) 自己財源の収入増を図る為、補助金事業や受託事業の協議を行い、富津市と業務委託に関する打ち合わせを行いました。

3 組織体制の充実

(1) 多種多様なニーズに対応できるよう、富津市に対し正規職員の増員について相談し、社協の人員と業務の適正化について理解を求めました。

また、人件費補助や受託事業について県社協や近隣市町村社協の運営状況などを調査し、今後行政と協議するための情報の収集を行い協議資料作成の準備を進めました。

(2) 一人ひとりが法人職員として定款・規程・要綱に基づく指揮命令系統の再認識や各々の職員の役割や責任を再度認識できるよう、個人面談の実施や外部研修への参加に努めました。

(3) 令和4年度に引き続き、社会福祉士等の資格保持者・福祉専門職経験者等、即戦力となる人員を採用できるよう、各専門分野の団体に登録し職員の募集を行いました。

4 職員の資質向上と研修体制の確立

(1) 職員の資質向上・効率的な事務処理ができるよう、外部団体実施の研修への参加促進を図りました。

(2) 専門分野における資格更新等に係る費用に対して法人として補助できるよう協議し、資格取得の推進が図れるよう検討しました。

5 各関係機関との協力体制の強化

(1) 必要に応じて行政や高齢者・障がい者等の関係機関と連携し、総合的な支援体制の構築に努めました。また、令和5年度はフードバンクとの連携を深め協力体制を構築しました。

(2) 災害時の役割を明確化するため、行政と合同の会議・研修会に参加し、非常時における体制の構築を図りました。

6 法人における苦情解決体制の充実

(1) 各部署に苦情解決のための体制を整備し、苦情受付者・苦情解決責任者を配置しました。

(2) 第三者委員の再設置に向けて、委員の選出の準備を行いました。

2 定例会議・月別事業報告

1 定例会議及び事業

<会議>

	事業内容	場所等
民生委員児童委員定例会議	毎月1回地区別にて会議 年に3回全体会議	市役所 他
主任児童委員定例会議	年4回(4月、9月、12月、2月) 地区別活動報告等	市役所
在宅ケアサービス会議	毎月1回 支援者の情報共有、事例検討 等	市役所
生活困窮者自立支援調整会議	毎月1回 社会福祉課とケース調整会議	市役所
3地区地域包括支援センター会議	毎月1回 事業検討、事例検討 等	市役所

<事業>

	事業内容	場所等
総合相談	弁護士による法律相談・職員による福祉なんでも相談	市役所
音訳テープ発行	県民だより(草笛会)・広報ふつつ(いさり火の会)	市役所
事務局情報発行	各月の事業計画について関係機関に送付	
交通手段支援事業	一人暮らし高齢者等の通院・買物支援事業	

*その他各事業については事業計画に基づきその都度実施

2 月別会議・事業（理事会・監査会・評議員会の内容は別紙役員会議報告のとおり）

	事業内容	場所等
<4月事業> 社会福祉協議会会費依頼	市内全戸・法人等に依頼	市内
<5月会議> 監査会 理事会 民生委員児童委員監査会議 民生委員児童委員役員会会議 3地区民生委員児童委員総会 ボランティア連絡協議会総会 愛の募金推進委員会会議 富津市地区社会福祉協議会連絡協議会会議	令和4年度事業報告・決算監査 令和4年度事業報告・決算監査・定例会議 等 令和4年度事業報告・決算 令和5年度事業計画・決算 令和4年度事業報告・決算 令和5年度事業計画・決算 実行委員長・委員長の選任 愛の募金(一円玉募金)実施について 会長の選任・各地区社協の活動状況	市役所 市役所 市役所 市役所 市役所 書面開催 市役所 市役所
<6月会議> 評議員選任・解任委員会 評議員会 理事会		市役所 市役所 市役所
<7月会議> 民生委員児童委員役員会会議	定例会議・3地区合同バス研修 等	市役所
<7月事業> 愛の募金期間	各世帯に依頼	市内全域
<8月会議> 4市社協会長・事務局長会議	事業検討・情報交換	袖ヶ浦市
<8月事業> 愛の募金回収期間 福祉ふつつ第98号発行	地区社会福祉協議会にて回収・集計開始	市内世帯

	事 業 内 容	場所等
<9月会議> 民生委員児童委員役員会会議	定例会議・3地区合同バス研修 等	市役所
<10月会議> 財政援助団体等監査 愛の募金推進委員会会議 理事会	市役所監事による監査 今後の方針について	市役所 防災センター 市役所
<10月事業> 福祉バザー	中止	
<11月会議> 民生委員児童委員役員会会議	定例会議・3地区合同バス研修 等	市役所
<12月会議> 理事会		防災センター
<12月事業> 歳末たすけあい募金配分事業	災害備蓄品 他	市内対象団体等
<1月会議> 民生委員児童委員役員会会議 臨時評議員会	定例会議・令和6年度活動計画 等	市役所 書面開催
<1月事業> 第43回富津市社会福祉大会	大会式典・記念講演	市役所
<2月会議> 理事会		防災センター
<3月会議> 理事会 評議員会 富津市地区社会福祉協議会 連絡協議会会議 民生委員児童委員役員会会議	情報交換会(交流会) 定例会議・令和6年度活動計画 等	防災センター 市役所 防災センター 市役所
<3月事業> 福祉ふつつ第99号発行		市内世帯

令和5年度 富津市社会福祉協議会役員会議報告

令和5年度においては役員会議は新型コロナウイルス感染症罹患者数等を勘案しながら参集により実施。8月の理事会については、議件内容を確認したうえで中止とした。

また、今後の組織運営のために職員の定年延長を図るため就業規則の一部改正を行った。

月	日	会議名	議題	出席人数
5	24	監査会	1 令和4年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会事業報告について 2 令和4年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分決算について 3 令和4年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会公益事業区分決算について	監事 2 理事 1
5	29	理事会	1 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 2 令和4年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会事業報告について 3 令和4年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分決算について 4 令和4年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会公益事業区分決算について 5 令和5年度 第1回評議員会開催及び上程議案について	理事11 監事 3
6	2	評議員選任解任委員会	社会福祉法人 富津市社会福祉協議会評議員候補者の選任について	委員3
6	14	評議員会	1 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会理事・監事の選任について 2 令和4年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会事業報告について 3 令和4年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分決算について 4 令和4年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会公益事業区分決算について	評議員16 理事 1 監事 1
6	14	理事会	1 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会会长・副会長の選定について 2 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会評議員選任解任委員の選任について	理事12 監事 2
8	18	理事会	中止	
10	20	理事会	1 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会就業規則の一部改正について 2 歳末たすけあい募金配分金事業について 3 第43回富津市社会福祉大会について	理事12 監事 1

月	日	会議名	議題	出席人数
12	15	理事会	1 令和5年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会公益事業区分第1回 補正予算の専決処分の同意について 2 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会臨時評議員会(書面決議)の開催 について 3 第43回富津市社会福祉大会の開催及び表彰について	理事11 監事 2
1	9	臨時 評議員会 (書面)	社会福祉法人 富津市社会福祉協議会理事の選任について	評議員18
2	14	理事会	令和6年度 富津市社会福祉協議会事業について	理事10 監事 2
3	22	理事会	1 令和5年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分 第1回補正予算について 2 令和6年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会事業計画について 3 令和6年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分 予算について 4 令和6年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会公益事業区分予算 について 5 令和5年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会第2回評議員会の 開催について	理事12 監事 2
3	27	評議員会	1 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会理事の選任について 2 令和6年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会事業計画について 3 令和6年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分 予算について 4 令和6年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会公益事業区分予算 について	評議員16 理事 1

3 各事業別の事業実績

(1) 車椅子・歩行器貸与事業

車椅子・歩行器は1週間以内であれば無料、それ以降1か月につき500円で貸出。

個人貸与の傾向としては、令和4年度と同様に1週間以内の利用者は通院や旅行、長期利用者は介護保険サービスでの利用が対象とならない方や骨折等の理由が大半を占めている。

行事貸与の傾向としても、選挙時の投票所への貸出しや、新型コロナウィルス感染症予防ワクチンの接種会場への貸出しが多くあり、大幅な利用増であった。

＜個人貸与台数＞

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R4 計
減免有	5	5	3	3	6	4	4	3	5	0	5	2	45	39
減免無	3	3	3	2	2	4	4	5	3	3	3	3	38	74

＜行事貸与台数＞

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R4 計
貸与数	21	28	18	0	0	0	27	35	16	0	5	0	150	35

＜歩行器＞

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R4 計
貸与数	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	4	5

(2) 福祉緊急電話設置事業

福祉緊急電話は設置時に10,000円の費用を本人が負担。

設置に関する相談は本人や家族、また民生委員からの相談が増加。

廃棄は、本人死亡・施設入所等が主な理由である為、撤去方法についての問い合わせが多くかった。

今後も設置業者や民生委員との連携を取りながら状況に応じた対応ができるよう努めていきたい。

＜過去5年の設置・廃止状況＞

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規設置数	17	29	20	20	9
廃棄数	27	71	30	22	23
現在の設置数	288	246	236	234	220

(3) シルバーテレホン友愛サービス事業

一人暮らし高齢者の安否確認を目的とした毎日型の電話訪問サービス。

令和4年度の利用者は7名であったが、現在は5名の利用者に対してボランティア6名が対応している。

事業開始当初の平成5年には約20名の利用者に対し4団体20名近くのボランティアが日替わりで活動していたが、現在は介護保険サービスの利用も浸透してきていることもあり、利用者の多くが毎日型ではなく、サービス利用日以外の安否確認の為利用している。

また不在時や緊急時は、民生委員やケアマネジャーとの連携で迅速な対応ができている。

課題としては、ボランティアの稼働調整が困難であるため、月に数日職員を動員していることから、広報紙等でボランティアの募集を行い、申込者へボランティアの体験を実施したところであるが、ボランティアの増にはつながっていない。

今後もボランティア募集を含め、広報啓発に努めていく必要性がある。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R4 計
訪問件数	82	84	85	81	71	55	56	50	53	50	47	41	755	1,180
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボランティア数	6	7	7	6	6	6	6	7	6	7	6	6	76	82
活動延べ数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243	242

(4) ボランティア活動促進事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年同様、施設等における入場制限は継続しており、施設の夏祭り等へのボランティアの参加依頼はなかった。

また、状況をみながら地域で自主的に活動されているボランティア団体については、ボランティア活動保険の相談や様々な財団が行っている助成金の推薦文作成依頼をはじめ、少しずつではあるがコロナ禍前に戻ってきている状況であり、ボランティア連絡協議会や各団体と連携しながら、各々の活動への相談支援に努めた。

(5) 買い物支援事業・交通手段支援事業

非課税世帯で外出の為の手段のない高齢者を対象にした交通手段支援事業は、ボランティアの協力を得ながら1人当たり月2回までを限度に実施。広報に掲載する等の周知により、利用の相談件数も増加し、昨年より利用件数も伸びてきている。

ボランティアの募集を行い人数が増となったが、稼働日数も増になっているので、今後も担い手であるボランティアの募集を行っていく。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R4 計
稼働日数	5	6	8	6	9	8	11	10	11	10	10	12	106	60
買い物利用	1	2	2	2	5	4	5	5	5	4	4	4	43	22
通院利用	4	4	6	4	4	4	6	5	6	6	6	8	63	38
ボランティア	5	6	8	6	9	8	11	10	11	10	10	12	106	60

*ボランティアの人数には職員を含む

(6) 福祉力ー貸出事業

市内の福祉団体や市民を対象に、移動支援を目的としてフリードを貸出（車いす対応）。ハイエース・キャラバンについては老朽化のため廃車したが、フリードのみで対応できている。

貸出時の主な利用目的は、通院・転院が主となっている。

<フリード貸出件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R4 計
件数	4	8	13	3	8	9	12	5	7	7	11	12	99	62
日数	4	8	13	3	8	9	12	5	7	7	11	12	99	62

(7) 富津市社会福祉大会・福祉バザー

令和4年度に続き、福祉バザーについては夏頃から感染症感染者が増加傾向になったために中止となった。

富津市社会福祉大会については、富津公民館から富津市役所大会議室へ会場を変更し、参加人数を少なくし開催することができた。

大会式典では、富津市社会福祉協議会会長表彰 7名、富津市社会福祉協議会感謝状 3個人、2団体へ贈呈した。

また、記念講演では、富津市ろうあ協会 会長 三辻康一 氏に、「昔と今 流れの中で千葉はどう変わりましたか」を演題として講話をいただいた。

今後も感染症の状況に応じた開催を検討している。

(8) 福祉ふっつ発行・ホームページの運営

広報「福祉ふっつ」は年2回（8月・3月）発行し、毎戸に配布。

ホームページについては、トピックスを中心に、情報の発信に努めた。

今後も定期的なホームページ内容の見直しを中心にさらにわかりやすい広報啓発の方法について検討していきたい。

(9) 福祉教育推進事業

令和4年度の実績は0であったが、令和5年度は1件小学校において車いす等の福祉教育を実施した。感染症が落ち着いたことで、今後学校での福祉教育の増についても検討していく。また、施設の新人研修として、福祉機器の貸し出しを行った。

今後は、富津市障害者総合支援協議会等と連携して、当法人の職員が講師をするだけなく、幅広い人材の講師を育成して、福祉教育を企画していきたい。

(10) 総合相談事業

専門職（弁護士）による無料法律相談と社協職員による福祉に関する何でも相談を開設し、日常生活のあらゆる相談に対し解決のための支援を行った。無料法律相談は予約制であるが、毎回定員（1日6名）に達し、多い時には次月の予約も埋まる状況である。

また、社協職員による福祉に関する何でも相談の内容は多岐にわたり、必要に応じて各関係機関につないでいる。

<法律相談実績>

月	開設 日数	予 約 受付数	相談数		予約時の相談内容						
			実 績	キャンセル	1	2	3	4	5	6	7
4	2	14	12	2	2	0	1	0	0	3	8
5	2	15	11	4	3	2	0	0	1	4	5
6	2	14	10	4	4	0	1	1	0	3	5
7	2	15	12	3	5	3	2	0	1	0	4
8	2	14	11	3	4	2	0	0	1	3	4
9	2	13	11	2	1	3	1	0	0	5	3
10	2	13	11	2	2	3	1	1	2	2	2
11	2	13	12	1	3	1	2	0	0	3	4
12	2	12	11	1	4	0	2	0	1	3	2
1	2	12	10	2	4	1	2	0	0	1	4
2	2	15	10	5	5	2	0	1	0	2	5
3	2	12	11	1	5	3	0	0	0	1	3
計	24	162	132	30	42	20	12	3	6	30	49
R4 計	24	151	130	21	37	18	9	7	6	26	35

*相談内容の番号… 1.相続 2.土地 3.離婚 4.家族 5.近隣 6.金銭 7.その他

<内容別内訳>

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
生 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職業・生業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住 宅	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
家 族	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	3
結 婚	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
離 婚	2	0	0	2	1	1	1	2	2	2	1	0	14
人権・法律	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財 産	3	4	3	6	1	0	0	3	3	5	2	5	35
事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・青少年	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
心身障がい児者福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦 情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その 他	6	5	6	4	6	10	9	7	5	3	7	6	73
合 計	12	11	10	12	11	11	11	12	11	10	10	11	132
R4 計	9	14	12	16	11	12	10	12	11	10	12	15	144

(11) 歳末たすけあい募金配分事業

共同募金会事業である歳末たすけあい募金で集まった財源を、各種事業に配分。
令和5年度は、地区社会福祉協議会・福祉団体への助成及び、地区社会福祉協議会に対し、災害時の備蓄物資を購入し配分した。

<配分内訳>

災害時備蓄保存食セット				
対象	富津地区	大佐和地区	天羽地区	合計
地区社協分	773,555 円	846,474 円	1,258,982 円	2,879,011 円
配分経費	① 振込手数料		3,520 円	3,520 円
災害支援物資合計				2,882,531 円
福祉団体		6 団体		210,000 円
給食サービス委託費		919 食分		2,205,600 円
総合計				5,298,131 円

*給食サービス委託費は各地区社会福祉協議会に年4回分を配分。

①600円×人數+2,400(1人分の予備)

<福祉団体配分内訳>

No.	団体名	代表者	金額
1	富津市手をつなぐ育成会	渡邊明美	40,000 円
2	富津市ジュニアリーダークラブ	福原麻衣	20,000 円
3	富津市子ども会育成連絡協議会	能城多裕	50,000 円
4	富津市あゆみの会	長谷川初子	50,000 円
5	富津市ろうあ協会	三辻康一	20,000 円
6	富津市手話サークル「コスモス会」	武次喜代子	30,000 円
	団体配分合計		210,000 円

(12) 苦情解決

社会福祉事業者は提供する福祉サービスについて、利用者からの苦情（要望）を受け止め、適切な解決に努めなければならないため、受付担当者・苦情解決責任者・第三者委員を定め安心してサービスを受けられようとする必要がある。

当法人においても部署ごとに上記職員を配置し、サービスに関する要望や苦情に対応できる仕組みを整備している。

また、第三者委員には中立・公正な立場の方を依頼し、社会性・客觀性を確保したうえで利用者の立場や特性に応じた適切な対応を行えるようにしている。

令和5年度についても、市民より様々なご意見や要望等があったものの、苦情解決の仕組みを使用し解決しなければならない案件はなかった。

今後も市民や利用者に寄り添いながら、適切な事業展開ができるよう努力していく。

(13) 貸付金事業・法外援護事業

千葉県社会福祉協議会委託事業である生活福祉資金貸付事業と、富津市社会福祉協議会単独事業である社会福祉金庫貸付事業があり、令和4年度までは新型コロナウイルス感染症の影響で離職や収入減となった人を対象に貸付を行う緊急小口資金等特例貸付に関する相談が増加していたが、令和5年度については、コロナ禍前から、もともと生活困窮に陥っていた世帯からの相談が増加している。また、生活困窮者が生活保護を受給するまでの支援としての緊急小口貸付や食糧支援など貸付のみならず総合的に相談支援をするケースも増加している傾向である為、フードバンクや関係機関と連携し継続的に支援をしていきたい。

<貸付事業実績>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総計	33	44	37	34	36	45	55	39	29	36	39	56	483
内訳	来所	11	18	11	8	12	16	23	13	11	11	20	165
	電話	22	26	26	26	24	29	32	26	18	25	28	318
①緊急小口資金	2	0	0	2	0	2	0	1	0	0	1	0	8
②一般福祉費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③教育支援費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④介護費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤障害自動車購入費	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
⑥住宅改修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦療養費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧不動産担保型資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨II(要保護世帯向け)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩社会福祉金庫資金	1	0	0	0	1	2	2	2	1	0	0	1	10
⑪市社協緊急小口資金	1	3	0	2	0	1	2	1	1	1	1	1	14
⑫緊急小口資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬総合支援資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭総合支援資金(再貸付)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

①～⑨県社協受託事業 ⑩⑪市社協単独事業 ⑫⑬⑭ 緊急小口資金等特例貸付(県社協)

<社会福祉金庫資金貸付>

項目	件数	金額
福祉金庫資金貸付	10	305,000円
償還件数	12	325,000円
市社協緊急小口資金	14	135,000円
償還件数	15	145,000円

<貸付予算額> 1,000,000円
 貸付額 440,000円
 残額 560,000円

<法外援護金実績>

所持金のない帰宅困難者に対し交通費(500円)を支給。
 令和5年度は0件。

＜生活福祉資金債権管理強化事業＞

新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（緊急小口資金、総合支援資金）の債権管理を千葉県社会福祉協議会と連携し実施する事業

事業内容		取組件数
借受世帯の実態把握	① 電話・文書・訪問面接等	41
猶予、免除の実施	① 償還猶予	0
	② 償還免除	0
その他、債権管理の強化に関する事業	① 生活保護受給状況の確認	9
	② 県社協とのケース検討会議	48
合 計		98

(14) 在宅ケアサービス事業

高齢者・障がい者世帯等を対象に、制度内でのサービスでは賄いきれない訪問介護サービスを必要とされている方に対してヘルパーを派遣。

現在は利用会員数・協力会員数共に減少傾向であり、今後の事業展開については検討していく必要性がある。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者人数	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	28
活動日数	5	14	18	15	6	5	4	5	5	4	6	5	92
総時間数	5	14	18	15	6	5	4	5	5	4	6	5	92
世帯形態別日数													
障がい者世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者世帯	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
延べ時間	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
その他の世帯	4	13	17	14	5	4	3	4	4	3	5	4	80
延べ時間	4	13	17	14	5	4	3	4	4	3	5	4	80
介護形態割合 (%)													
生活援助	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
身体介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(15) 介護保険事業

介護保険法に基づき、相談・ケアプランの作成、保険請求を行うとともに、介護保険認定審査会及び訪問調査員として認定審査や訪問調査を行い、自主財源確保に努めながら、地域市民の介護サービス支援を継続的に行ってきました。

しかしながら、専任職員を配置することは困難であり、兼任職員2名体制での事業展開の為、利用者を増員することは困難である。今後は専任職員の配置も検討していく必要性があるが、もともと全国的にケアマネジャーの高齢化や担い手がいないことも増員できない要因となっている。

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
居宅介護支援	10	10	10	9	10	9	8	8	7	7	6	6	100
介護予防支援	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
訪問調査	0	0	1	0	2	1	2	0	1	0	1	0	8
認定審査	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(16) 心つ成年後見支援センター事業

受任している被後見人の方々の割合は高齢者区分が多く、経過による高齢化に伴い逝去されるケースが発生しており、死亡後の相続人等との引継ぎに関する業務が増加している。

今後も行政と協議しながら、中核機関の受託や市民後見人の育成も視野に入れ、受託金や補助金を活用した財源確保をしながら、職員の増員や体制強化を図り、相談対応が充実できるように事業の活性化を図りたい。

＜相談及び受任者数＞

(単位：件)

	高齢者	障がい者	その他	計
新規相談件数	11	0	8	19
新規受任者数	1	0	0	1
今までの受任者数	16	2	0	18
うち死亡者数	11	0	0	11
現在の受任者数	5	2	0	7
任意後見契約数	3	0	0	3

＜類型別人数＞

(単位：件)

	現在数	延べ数
後見類型	6	16
補佐類型	1	1
補助類型	0	1
計	7	18

＜相談経路＞

(単位：件)

本人	4
親族	3
包括支援センター	1
医療機関	1
行政職員	3
民生委員	2
福祉関係機関	5

＜相談内容と対応＞

(単位：件)

成年後見制度について	5	訪問や面談にて制度の説明
財産管理等について	14	日常生活自立支援事業の説明。判断能力が低下している等、状況に応じて成年後見制度についても説明

(17) 日常生活自立支援事業

判断能力に不安のある方の自立した地域生活を支援するため、福祉サービスの利用手続きの相談を受けたり、預貯金の出し入れの代行、重要書類の保管などを行っている。

現在は高齢者の利用者が半数以上を占めており、高齢者支援連絡や市役所生活保護担当部署、相談支援機関からの相談が増加してきている。

また、専門員対応ケースの割合が多くあり、今後広報啓発を行いながら生活支援員の増員を目指すことが重要である。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談・訪問調査等延べ回数													
高齢者	10	8	10	8	9	9	8	9	12	10	7	5	105
知的障がい者	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3	4	3	39
精神障がい者	3	3	4	3	3	1	3	2	2	1	2	1	28
その他	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6
合 計	17	14	18	14	17	14	15	14	18	14	14	9	178
上記のうち訪問調査のみ													
実人数	12	10	13	10	12	9	12	10	13	9	10	6	126
延べ回数	17	14	18	14	17	14	15	14	18	14	14	9	178
継続中の実人数	21	21	21	21	21	19	19	19	19	19	18	18	236

(18) 富津市大佐和地区地域包括支援センター（受託事業）

令和5年度は、3年間の業務委託契約を締結し、1年が経過したところであり、身近な相談窓口として、いつまでも住み慣れた地域で生活ができるよう支援しているところである。

地域包括支援センター業務の入り口となる総合相談は360件であった。総合相談の内容としては介護保険関係が全体の60%と半数以上を占めていた。関係機関と連携を図り、検討し、課題解決に向けて取り組んできた。

総合相談の「その他」は123件と多く、多種多様な相談があったが特に精神に障害を抱えている方の支援は難題であり、関係機関との連携が必要不可欠であった。他には家族関係や医療の問題等、これらのほとんどが長期にわたる支援を必要としており、現在も継続中である。支援終了後も見守りや声掛けなど一人ではないということを伝え、地域でいつまでも安心して暮らし続けられるよう本人はもちろんのこと、各事業所の相談にも対応し支援してきた。

平成29年度からスタートした富津市が進める「富津市いきいき百歳体操」では、現在大佐和地区では16団体が自主運営として活動しており、今年度は全ての地域で活動し、閉じこもり防止や筋力低下を防ぐ活動ができた。今後も「富津市いきいき百歳体操」が広まるように活動していきたい。

地域包括支援センターは介護保険サービス調整や高齢者の相談、相続、障害、生活の困窮等相談が多岐にわたるため、ケアマネジヤーや関係機関との連携も重要であり、資質向上を行うことも重要課題の一つであると考えている。富津市ケアマネジヤー協議会と協働で研修会も実施しており、支えあいの地域づくり(地域包括ケアシステム)の構築を3地区の地域包括支援センターと検討し協力しながら活動を進めてきた。

	総合相談							包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	ケアマネジメント業務 件数 *()委託件数
	介護保険の申請の相談	介護(予)給付に関する相談	総合事業に関する相談	虐待に関する相談	権利擁護に関する相談	成年後見制度に関する相談	その他		
4月	8	13	1	1	0	0	13	36	0 106(27)
5月	6	4	3	0	0	0	10	23	0 108(28)
6月	12	4	3	0	0	0	12	31	1 106(27)
7月	8	12	6	1	0	0	12	39	1 110(25)
8月	7	10	0	0	0	0	17	34	0 107(25)
9月	4	12	2	0	0	0	6	24	0 110(25)
10月	6	7	1	0	0	0	11	25	0 119(26)
11月	5	10	0	0	0	0	9	24	0 106(26)
12月	11	10	0	1	0	0	2	24	1 105(27)
1月	8	11	0	0	0	0	13	32	0 104(26)
2月	9	15	0	0	0	0	9	33	1 110(28)
3月	12	14	0	0	0	0	9	35	1 108(29)
合計	96	122	16	3	0	0	123	360	5 1,299(319)
R4計	93	181	2	0	1	5	194	476	4 1,289(363)

【その他の事業実績】

1 いきいき百歳体操教室

- ① ★弁天区集会所 48回実施(参加者 123名)
- ② ★大貫ふれあいシニア館 43回実施(参加者 241名)
- ③ 中央公民館
- ④ 憇いの里オリーブ
- ⑤ 鶴岡区個人宅
- ⑥ 笹毛区公民館
- ⑦ 西大和田青年館
- ⑧ 佐貫コミュニティセンター
- ⑨ 鶴岡八幡神社参集所
- ⑩ 中公民館
- ⑪ 八田沼集会場
- ⑫ 近藤区集会場
- ⑬ 上公民館
- ⑭ 絹青年館
- ⑮ 一色・障子谷青年館
- ⑯ 船端集会場
- ⑰ ★中荒公会堂 10回実施
(参加者 115名)

★以外は自主運営。実施回数及び参加者数については、職員が後方支援で参加した数値。各団体毎週1回教室を開催。

- 2 ケアマネジャー事例検討会 2回 19名
- 3 ケアマネジャー研修会 3回 159名
- 4 3地区包括・ケアマネ協議会・基幹相談支援センター合同研修会 2回 94名
- 5 認知症メモリーウォーク・千葉in富津 1回 一般市民
- 6 富津市高齢者・障害者虐待対応にかかる研修会 1回 19名
- 7 民生委員各相談 22件

(19) 生活困窮者自立支援事業及び被保護者就労支援事業（受託事業）

〈事業概要〉

- ・経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方の相談窓口。
(生活困窮者自立支援事業)
- ・就労可能な被保護者で、個別支援を行うことで就労が可能な被保護者への就労支援。
(被保護者就労支援事業)

〈現状〉

- ・令和4年度と同様、65歳以上や障がい者の相談が増加している。
- ・また、就労支援が大半を占めている。
- ・相談者と生活課題について考え、自立を促すための支援のコーディネートをしている。

〈効果〉

- ・相談の内容を聞き取りし、本事業だけでは解決できない課題は、関係機関と連携して対応できている。障がい者の相談には、本人の了承を得て、「富津市基幹相談支援センターえこ」と情報共有を行い、連携して支援をすることができた。
- ・相談者の就労に対して、履歴書作成支援や職場見学の同行、模擬面接、面接への同行等を行い就労に繋げることができた。

〈今後の重点〉

- ・相談者の就労支援はハローワーク等の同行支援、面接支援等、またハローワーク等と情報共有を図り支援を行う。
- ・相談者への対応として、各関係機関と連携して支援しているが、今後は更に連携を密にするために、各関係機関が実施している会議等への出席や本事業の説明を研修会等で行っていく。

生活困窮者自立支援事業										被保護者就労支援事業					
月	新規相談者数	相談経路（重複有り）				支援方法（延べ回数）			就労支援対象者	就労開始者	就労収入の増	月	対象者	訪問（延べ回数） ・電話	就労開始者
		本人	知人・家族	関係機関等	その他	電話	同行	訪問・面談							
4	3	3	0	0	0	15	0	2	1	0	0	4	15	44	0
5	3	3	0	0	0	7	0	3	2	2	0	5	15	39	0
6	4	4	0	0	0	9	0	8	1	4	1	6	17	49	0
7	9	9	1	2	0	11	4	11	8	1	1	7	18	41	0
8	9	9	2	0	0	27	16	19	3	0	0	8	19	38	0
9	10	10	0	2	0	17	12	15	4	2	0	9	20	47	0
10	12	9	3	1	0	42	8	15	4	3	0	10	20	41	0
11	7	6	0	1	0	40	15	15	2	3	0	11	21	37	0
12	10	9	0	2	1	30	8	20	6	2	0	12	21	35	1
1	11	10	0	3	2	30	8	14	7	4	1	1	21	32	0
2	10	8	5	0	0	43	10	17	9	4	0	2	22	46	0
3	6	5	0	2	0	24	16	11	3	6	4	3	22	35	2
合計	94	85	11	13	3	295	97	150	50	31	7	合計	231	484	3
R4 計	74	69	18	8	0	123	39	102	49	17	1	R4 計	202	478	1

＜住居確保給付金事業＞

住居を失う等の可能性がある方（就労活動を行える方）で、市が定める条件を満たしている場合に当センターへ申請し、市が決定した方へ生活保護基準の住宅費を3か月支給。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	4

＜家計改善支援事業＞

家計収支の均衡がとれないなど、家計に課題を抱える方への相談支援事業。一緒に家計表を作成し、対象者が自分自身で家計の課題を把握していく。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	1	0	0	2	0	0	2	1	0	2	8

＜就労準備支援事業＞

支援対象者に職場体験や履歴書作成支援、模擬面接、面接同行等を行う就労支援事業。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	2	1	1	5	2	4	5	3	2	25

4 社会福祉協議会 会費・愛の募金・共同募金 過去推移

<富津市社会福祉協議会会費>

(単位:円)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般会費					
富津地区	2,714,200	2,678,900	2,646,800	2,590,500	2,574,100
大佐和地区	2,230,900	2,218,200	2,242,360	2,213,560	2,164,510
天羽地区	2,005,970	1,985,600	1,972,000	1,961,800	1,929,400
一般会費計	6,951,070	6,882,700	6,861,160	6,765,860	6,668,010
特別会費					
市職員	57,600	57,600	57,600	57,600	63,600
区市民特別会費	8,400	8,400	2,400	7,200	7,200
社協役員	0	0	0	18,000	19,200
特別会費計	66,000	66,000	60,000	82,800	90,000
法人会費	965,000	933,000	1,033,000	1,113,000	1,043,440
合 計	7,982,070	7,881,700	7,954,160	7,961,660	7,801,450

<愛の募金>

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地区社協名					
富 津	223,424	243,879	271,772	322,509	290,511
青 堀	376,312	403,580	393,063	458,720	391,364
飯 野	272,901	309,859	287,791	360,644	311,021
富津地区合計	872,637	957,318	952,626	1,141,873	992,896
大 貫	389,441	400,047	392,065	442,179	474,702
吉 野	205,238	231,287	211,742	226,918	244,403
佐 貫	251,119	256,790	243,919	257,633	268,280
大佐和地区合計	845,798	888,124	847,726	926,730	987,385
湊	204,077	240,062	241,519	264,058	268,357
天 神 山	142,238	153,620	155,634	173,040	187,965
竹 岡	111,149	125,424	124,763	122,122	134,510
金 谷	140,585	117,558	129,913	136,166	157,313
峰 上	236,364	241,266	227,507	234,890	259,577
天羽地区合計	834,413	877,930	879,336	930,276	1,007,722
富津市全区合計	2,552,848	2,723,372	2,679,688	2,998,879	2,988,003
新富工場協議会	15,542	61,072	31,728	36,387	26,599
その他	21,542	68	0	824	0
合 計	2,589,932	2,784,512	2,711,416	3,036,090	3,014,602

<赤い羽根共同募金>

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
戸別募金	5,426,750	5,400,850	5,347,100	5,356,205	5,118,250
学校募金	91,513	65,793	93,340	67,305	69,766
職域募金	38,815	42,458	40,543	43,098	46,028
その他募金	113,201	121,015	118,500	145,258	151,492
個人募金	50,000	0	58,379	53,000	0
法人募金	531,666	482,850	510,090	454,275	538,074
合 計	6,251,945	6,112,966	6,167,952	6,119,141	5,923,610

<歳末たすけあい募金>

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
戸別募金	4,504,244	4,434,050	4,419,955	4,385,180	4,239,301
職域募金	42,630	47,296	43,498	51,247	56,864
その他募金	0	12,295	0	0	0
法人募金	500,368	497,659	604,103	476,861	469,146
個人募金	0	0	0	2,950	0
合 計	5,047,242	4,991,300	5,067,556	4,916,238	4,765,311